

## 当社社長の「2008年 新年挨拶」について

本1月4日、当社社長の松下功夫は、2008年を迎えるにあたり、社員に対して新年の挨拶を行いました。要旨は次のとおりです。

1. 昨年は、かつてない異常な原油価格の高騰に世界中が振り回された一年であった。原油価格の高騰に伴う石油製品価格の上昇が家計に与える影響は大きく、省燃費車への移行や、電気・天然ガスなどへの燃料転換が進んでいる。本年は京都議定書の第一約束期間が始まることもあり、環境意識の高まりによって、石油製品の内需の減少傾向に拍車がかかる可能性もある。一方、国内の精製能力の構造的な過剰状況は依然として解消されておらず、石油産業全体として厳しい局面にたたされることが予想される。
2. こうした状況の下、当社は、これまで進めてきた経営諸施策を加速しなければならないが、本年は特に次の3つを重点課題として取り組んでいく。
  - (1) 新設した石油化学製品生産設備の高効率操業体制の早期確立  
石油化学製品等を増産するため、700億円を投じて鹿島製油所に生産設備を新設したが、これは当社成長戦略の具現化プロジェクトであり、早期に高効率操業体制を確立し、所期の投資効果を実現できるよう取り組んでいただきたい。
  - (2) 安全・安定操業の徹底  
重大事故こそ発生しなかったものの、昨年、製油所での装置トラブルが相次いだ。生産能力がショートポジションにある当社にとって、装置の重大事故は会社経営に甚大な影響を与える。これまで以上に安全・安定操業に万全を期して欲しい。
  - (3) CS経営の実践  
2006年からCS(顧客満足)経営に取り組んできたが、今年は「CS経営実践の年」と位置付けている。「倦まず弛まず、そして愚直に」取り組みを継続し、お客様から「JOMOにぞっこん」と言われるよう、「安心」「信頼」「好感」を基盤に、JOMOブランドならではの提供価値をJOMOステーションで具現化していく。

以上